実施日	2024年2月25日(日)	実施ブロック	第1ブロック	参加人数	89名
会場	足立区生涯学習センター研修室1				
大会名	審判研修会(座学)				
指導員名	岩崎 浩一、平瀬 まさみ				

指導会当日の概要

- ・当初予定では午前中:座学 午後:4年生練習試合の実技研修会であったが悪天候の為、終日座学に変更となった。
- •午前 座学 ①競技規則改正点伝達:平瀬
 - ②講義 動きとポジショニング(正しい判定の為に:ホールディングの見極め):岩崎
- ・午後 座学 ③オフサイド判定の考慮点
 - ④懲戒罰の考慮点(DOGSO、SPAなど)

ブロックコメント

- ・共に昨年に続いての講習、有り難うございます。
- 講義の内容は非常に分かりやすく参加者全員が集中して取り組んでいた様子が伺えました。
- 残念ながら実技は、悪天候の為出来ませんでしたが、次回楽しみにしてます。

指導員コメント

- ・予定よりも多くの受講生が参加して、終日座学に対してもほど良い緊張感と真摯な態度で受講が出来ていて講師としてとても有難かった。
- スタッフの協力は手厚く、連携も良かったです。
- ・受講生が前向きな気持ちで参加していたことが伝わってきました。
- 質問を含め、発言なども積極的でした。その態度に驚かされるほどでした。
- ・今回の研修に向けての準備なども大変だったと思いますが今後も継続して頂きたいです。





実施日	2023年12月2日(土)	実施ブロック	第14ブロック	参加人数	25名
会場	小平市・小川西グランド				
大会名	ブロック5年生大会				
指導員名	塩家 利孝、平瀬 まさみ				

指導会当日の概要

- ・15分ハーフ2面×6試合、全12試合を4人制審判法で実施。
- 「選手を育てるためのレフリングを!」をスローガンとして掲げた。
- ・2面x3試合、全6試合の「打合せ~振返り」までを、育成指導員2名で担当。
- ・他の6試合は、同じ方法で、14B審判部員が担当。
- ・参加審判員は初心者が多かった。振り返りでは多くの質問があった。
- ·参加審判員数は、25名(U-18 1名を含む)。

ブロックコメント

- ・総勢25名の受講生が集まり講師、審判部からのアドバイスをメモしたり、次の試合に実践したりと皆様の レフリングの意気込みを強く感じることが出来ました。
- ・その反面、取得後の独学により基本的なことを忘れてしまっている、又は実践できていない受講者が居た ことも否めません。
- ・各会場で行われている大会で審判部が基本をアドバイスしながら、今後は座学も開いて基本を再度認識 してももらえる様にしていきます。
- ・それと、各チームでも簡単な知識の勉強を行っていただくとよりレフリングの向上につながっていくと思います。

指導員コメント

- ・振り返りのとき、双方向で話を進められて良かった。(なるべく審判員に話をして貰いました。)
- ・アイコンタクト、ゴールラインまで走り切るなど、普段試合で行っていることを知らない方が数多くいらっしゃった。
- ・振り返りのあとの質問(試合には関係ないことも含め)が多くあり、皆さんの前向きな姿勢が感じられた。
- ・ベテランの方で、仕方なく参加している人への指導の難しさを感じた。
- ・閉会式では、最後は笑顔の方が多く、指導会を実施して良かったと感じた。
- ・千葉審判部長を中心に審判部員が良くまとまって運営をスムーズにこなしていると感じた。
- ・目的を明確にし、効果ある指導会が実施できたと感じた。
- ・14Bのスタッフの皆様には、大変お世話になり、感謝申し上げます。





実施日	2024年2月23日(金·祝)	実施ブロック	第14ブロック	参加人数	60名
会場	東村山市サンパルネ				
大会名	14ブロック審判座学研修会				
指導員名	武山 茂				

指導会当日の概要

・実際に発生しうる事例や事象を中心に、競技規則の理解、特に再開方法についての講義を実施した。 また、4種という世代についての審判員としてのアプローチについても一部触れ、審判員は「その試合を ゆだねられた人」という認識をもち取り組んでいくことを説明した。

ブロックコメント

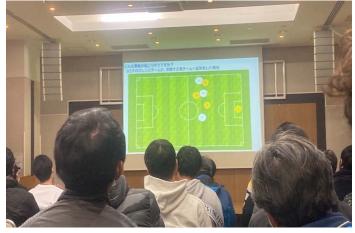
- ・ブロック登録チームがほぼ参加して頂いた状況です。
- ・受講対象者の審判資格はほぼ4級取得者で取得後はトレーニングマッチや自チームでの練習、各大会で チームの経験者よりアドバイスをいただき経験を積んできました。
- ・講習内容も4種で起こりえる事象をご用意頂き、参加者に問いかけながらの講習会でブロック役員や参加者からは解りやすい、直ぐに役に立つ内容とのご意見がありました。

また、競技規則の変更で少年の試合で起こりえる事象も説明して頂きました。

・来年度もこのような座学で講習会ができればと思っています。

指導員コメント

- 全体的に熱心に受講いただくことができた。
- 4種にありがちな事例を中心に講義を実施。
- |・伝えたいことも多くあったため、講義形式とした。
- ・もう少しお題をしぼり、座学のみならず、グループディスカッション形式としてもよかったと考える。 ※個人的にも現場の雰囲気も感じることができ、有意義な時間となりました。





実施日	2023年7月8日(土)	実施ブロック	第15ブロック	参加人数	37名
会場	ZOOM形式·座学				
大会名	2023年度 15ブロック審判部講習会				
指導員名	武山 茂、塩家 利孝				

指導会当日の概要

- •ZOOMによる座学を実施。 参加者37名(含女性1名)。
- ・少年サッカーを取り巻く特徴や変化と審判員の役割と責任、競技規則の基礎及び、主審、副審の良い 位置取りとチームワークについて講義を実施。
- ・よく遭遇する事象における再開方法、ポジション取りの基本(対角線式審判法)について解説。
- 大きなチャンスの状況の整理、ハンドについての解説。

ブロックコメント

- ・今回の講義は、少年サッカーの実情に合わせたカリキュラムを組んで頂き、とても有意義な講習会になりました。また、講師のご厚意で、説明資料の展開が可能になりましたので、受講者へ配信を行いました。
- ・今後も、可能な限り資料や映像の配信をお願いしたいと思います。

指導員コメント

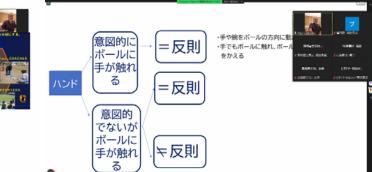
- ・指導会の事前打合せをZOOM形式にて2回行い、岡田審判部長を中心に、良い準備ができた結果、 指導会自体も良い形で実施できたと思います。
- •15Bスタッフ各位に感謝申し上げます。

指導会写真

1. 少年サッカーをとりまく環境の特徴や変化

■育成世代

- ・サッカーを上手になる
- ・関わる人への感謝、リスペクト
- ・大人、子供の垣根ないコミュニケーション パーソナリティーの醸成
- サッカー競技を通じて、たくさんの学びがある。
- ■昨今のトレンド
 - 一方で・・・
 - ・競技力のアップ(個々の技術、チーム力の向上)
 - ・審判員のスキルアップの鈍化(競技カUPに追いつかない)※トレンド:4人審判制 → 1人審判制 → 4人審判制





実施日	2023年7月9日(日)	実施ブロック	第15ブロック	参加人数	37名
会場	あきる野市雨間グランド				
大会名	2023年度 15ブロック審判部講習会				
指導員名	武山 茂、塩家 利孝				

指導会当日の概要

- ・前日の座学を活かし、実際にプラクティカルトレーニングを実施。参加者37名(含女性1名)。
- ・角度をつけて観る、副審を意識した動き、オフサイドラインキープ等を題材に実施。

ブロックコメント

- ・7月8日と9日の2日間に渡って15ブロックの審判講習会を開催し、武山様と塩家様に対応して頂きました。
- ・事前の打合せで伝えた審判員の課題に対して、少年サッカーの実情に合ったわかりやすい内容で指導を して頂きました。
- ・特に2日目の実技は、暑い中での開催になりましたが、熱心に指導をしていただき有難うございました。
- ・今回の講義を活かして、審判員の育成と強化を図っていきたいと思います。

指導員コメント

- 参加者の皆様には積極的に取り組んでいただいた。
- 質問も両日いただき、参加者のイメージが高まる形で進めることができたと考えております。
- ・審判免許取り立ての方々もおりましたが子供達のために頑張るという姿勢があればスキルアップはできる 方々との感想を持ちました。
- ・2日間の研修でしたので、初日の座学を活かした形で2日目に臨むことができました。
- ・できるだけ、実際のシーンをイメージできるような解説を行うことで、参加者の研鑚につながればと 思うところです。
- ・指導会の事前打合せをZOOM形式にて2回行い、岡田審判部長を中心に、良い準備ができた結果、 指導会自体も良い形で実施できたと思います。
- •15Bスタッフ各位に感謝申し上げます。

